

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：土木費 項：道路橋りょう費 目：道路総務費

### 事業名 道路啓開訓練実施事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部道路維持課市町村道係 電話番号：058-272-1111 (内 3713)

E-mail： c11657@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,310千円 (前年度予算額： 2,310千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,310	0	0	0	0	0	0	0	2,310
要求額	2,310	0	0	0	0	0	0	0	2,310
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県では、南海トラフ地震などの大規模災害時に迅速な救援ルートの確保が可能となるよう、平成29年度末に道路啓開の考え方や手順等を定めた道路啓開計画を策定した。

今後、発災時に道路啓開を確実に迅速に実施できるよう、県の各土木事務所管内において、国や災害応援協力協定を締結している建設業協会などの関係機関と連携した訓練を実施し、実効性の向上を図る必要がある。

### (2) 事業内容

ガレキや流出土砂等で道路が閉塞、車両が放置された状態など、発災時に想定される状況を模した現場を再現し、関係機関と連携して道路啓開訓練を行うことにより、道路啓開計画の実効性向上を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

道路啓開訓練を主催する国と岐阜県が訓練に要する経費を分担する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
訓練実施費 (委託料)	2,310	県内3箇所を実施。 (美濃中西部、美濃東部、飛騨地域で各1箇所)
合計	2,310	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

平成30年7月豪雨災害検証報告

令和2年7月豪雨災害検証報告

(2) 国・他県の状況

国及び他県においても道路啓開訓練を実施。

(3) 後年度の財政負担

道路啓開計画の実効性向上を図るため、道路啓開訓練を継続的に実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：国及び岐阜県

妥当性：直轄国道及び県管理道路の道路啓開を実施する国及び岐阜県が、道路啓開訓練の事業主体となることは妥当である。

# 事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 南海トラフ地震などの大規模地震時に道路啓開を実施し迅速に救援ルート  
 を確保できるよう、国や災害応援協力協定を締結している建設業協会などの  
 関係機関と連携した訓練を実施し、道路啓開の実効性向上を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始 前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

本事業は、発災時の道路啓開の実効性向上を図ることを目的に訓練を実施  
 するものであり、指標を設定することは困難である。

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
  
 美濃中西部、美濃東部、飛騨の県内3地域において、関係機関と連携した  
 道路啓開訓練を実施。

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
  
 発災時に想定される状況を模した現場を再現し、関係機関と連携して道路  
 啓開訓練を行うことにより、道路啓開計画の実効性が向上。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	<p>南海トラフ地震などの大規模地震時には、迅速な道路啓開による救援ルートの確保が必須である。そのためには、国や災害応援協力協定を締結している建設業協会などの関係機関と連携した訓練を実施し、道路啓開の実効性向上を図る必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul> <p>発災時に迅速かつ確実に道路啓開を実施できるよう継続的な訓練が必要。</p>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> <p>発災時に迅速かつ確実に道路啓開を実施できるよう、継続的に訓練を実施し、道路啓開の実効性向上を図る。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	